

# バイト減の中助かる

## 学生食料支援各地で

### 愛媛

コロナ禍で苦しむ学



約170人が訪れた「もっけ市」14日、松山市

生たちを支援しよう  
と、日本民主青年同盟  
愛媛県委員会は14日、  
松山市の愛媛大学正門  
付近で7回目の「学生  
応援プロジェクト・食  
材もっけ市」を開催  
しました。集まった約



食料品などを手に取る  
学生14日、佐賀市

170人の学生たちは  
支援者から寄せられ  
た、お米や野菜、レト  
ルト食品などをうれし  
そうに受け取っていま  
した。

春休み中にもかかわらず、今回も開始時間の30分前からトートバッグなどを手にした学生たちが集まりはじめ、10分前には長蛇の列ができました。2、3度目の利用と答える学生が多く「すごく助かります」「本当にありがたい」と感謝の声が次々と寄せられました。

が営業を休止して、一時は収入がゼロになった」と言います。現在は元の収入に戻りつつありますが、学費も賄わなければならず「家族に迷惑をかけてます」と話しました。

2度目の利用という女子学生(21)は「バイトのシフトも増えていますが、以前と比べれば全然少ない」と引き続き窮状を訴えました。

今回は愛媛労働労働相談センターの協力で、3人の相談員が休業支援金等にかんする相談に応じていました。

### 佐賀

コロナ禍の学生への食料支援をしようと、3回目の「学生応援ゼ

口円市場SAGA(主催・実行委員会)が14日、佐賀市の佐賀大学近くにテントを張って開かれました。

開始直後から10人ほどが並び、41人の学生がカップ麺やレトルト食品、ティッシュペーパーなどを受け取っていききました。訪れた学生が友人に電話で参加を呼び掛ける場面もありました。

食料支援に毎月訪れている大学3年生の森瑛美さん(21)は、SNSで呼びかけた友人達と訪れました。「飲食店でバイトをしていましたが、コロナの影響で5万円もらっていたのが1万円になりました。教育実習の時間も減り、学べることも少なくなったと思います」と話しました。